

黒石市長

高 樋 憲 様

令和 8 年度

黒石市に対する要望事項

黒石商工会議所

令和8年度黒石市に対する要望

【最重点要望事項】

1. 黒石市制度融資保証料の増額について（継続・一部変更）

黒石市制度融資は当該保証料を一定額、市が負担し中小企業者の資金繰りや経費負担の軽減に寄与しております。

市が保証料を全額補助する小口資金特別保証制度の保証料給付は、例年年度後半には保証料給付が受けられない中小企業者が出るなどニーズの高い制度であるため、制度自体の融資承諾枠が予算に達していない場合でも、保証料の給付については例年比較的早く予算に達しており、保証料補給枠がないことで融資の申込を躊躇する事業所が多く見られます。

また、黒石市が連携している青森県融資制度の「事業活動応援資金（事業活動枠）」については、保証料の補助に際し、市より70%が補給されるほかは事業者負担となっており、小口資金特別保証制度に比べて利用しづらい制度となっております。

つきましては、「小口資金特別保証制度」における保証料補給枠の増額に加え「事業活動応援資金（事業活動枠）」において設備資金を資金使途とする場合、事業者の人手不足対策や生産性向上を支援する観点から、保証料を100%補給とする制度設計を要望します。

【重点要望事項】

◆「商工業振興」

2. 黒石市の経済対策について（継続）

原油価格や物価高騰の影響により、市内事業者及び市民の負担増が続き終息の見通しが立っていません。この状況を踏まえ、令和7年度に行われた「物価高騰対策くろいし応援商品券発行事業」と同様の経済対策を継続して要望いたします。

本事業は市内事業者の安定した商品提供の継続や、顧客離れ防止及び市民の生活必需品の購入支援等、双方にメリットがあり、地域の消費活性化に寄与する事業であると考えます。

3. 中小企業者等が行う賃上げに対する支援について（新規）

最低賃金の引き上げにより、防衛的賃上げをせざるを得ない中小企業者等が多く存在する中、令和7年11月、弘前市では弘前市賃上げ応援奨励金の受付を開始しました。この制度は事業者にとって効果的な制度であると考えます。

つきましては、賃上げに伴う厳しい経営環境を支援することにより、急激な物価高騰下における労働者の生活水準の維持向上及び人材の確保・定着を促進し、持続可能な雇用環境の構築につながるため、市内の中小企業者等の賃上げに対する支援を要望します。

4. マイナンバーカードの利便性をより高める自治体サービスについて（継続・一部変更）

現在、マイナンバーカードは、マイナポイント事業等によって普及促進が図られ、徐々に交付数が増加しており、市民は様々なサービスを受けられます。黒石市ではコンビニエンスストアで住民票や印鑑証明を取得するサービスが開始され、自宅付近のコンビニエンスストアでサービスを受けられる、自治体の営業時間外でもサービスを受けられるようになりました。

しかし、健康保険証としての利用（「マイナ保険証」）や運転免許証との一体化（「マイナ免許証」）などマイナンバーカードの多機能化が進む中で、高齢者をはじめとする市民が制度や利用方法、各種手続きの仕方を十分に理解できず、利用促進が進まない可能性があります。

つきましては、マイナ保険証・マイナ免許証の機能を含めたマイナンバーカードの円滑な普及とさらなる利用促進を図るため、黒石市における相談・支援体制の強化、ならびに地域での説明会や個別サポートの拡充を要望します。

◆「都市環境」

5. 街なかの環境整備について（新規）

観光客で集うこみせ通りには、雪害による建物が未補修の状態で現存し、損傷箇所の被害拡大が懸念されるとともに景観上支障をきたしています。また、多くの人が利用する公衆トイレや歩道の街路灯が他市に比べて暗いとの声が聞かれています。

つきましては、こみせ通りの建物の雪害箇所の被害拡大防止のため、暫定的な措置を講じていただくよう要望します。併せて、公共施設等の照明光度の向上、防犯カメラの設置状況の周知および増設を検討し、観光客や市民が安全に散策できるような街なかの環境整備について要望します。

6. 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）

大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を經由して青森市と結ぶ重要路線です。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっています。

この交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを引き続き要望します。

7. 市民の利便性向上に資するワンストップ行政の実現について（新規）

黒石市における行政体制につきましては、境松庁舎や黒石市役所、わのまちセンターなどの複数の建物に窓口が分散している現状です。そのため、一つの手続きを行う際であっても、複数の窓口を行き来せざるを得ず、時間的・身体的負担が少なくありません。特に高齢者や小さなお子様を連れた方、また仕事の合間に手続きを行う市民にとっては、大きな不便を感じる要因となっております。

市民から見れば「同じ市役所の業務」であるにもかかわらず、建物や担当部署が分かれているために、利便性が十分でないと感じられる場面が少なくありません。

オンラインや電子申請の更なる推進で、窓口に出向く必要を減らすとともに、サポート体制を設けることで高齢者やデジタル機器に不慣れな市民にも安心して利用できる環境を整えていただきたいと思います。

こうした状況を改善し、市民サービスの向上と行政運営の効率化を実現するために、窓口を一本化したワンストップ行政について要望します。

8. イベント期間中の公共交通機関の充実について（新規）

黒石ねふたまつりや黒石よされ、こみせまつり等、黒石市で開催されるイベントは一定の集客力を有しているものの、その経済効果がイベント会場周辺に限定されている現状があります。現在、市内の公共交通機関が限られているため、自家用車を持たない観光客や高齢者にとって、複数の観光地を巡ることが困難な状況となっています。また、イベント期間中は駐車場不足や交通渋滞の問題も発生しており、来訪者の利便性向上と交通環境改善が喫緊の課題となっています。

イベント会場と市内観光地を結ぶ臨時バスの運行をすることで、イベント来場者が市内各所を訪れる機会が創出され、滞在時間の延長、飲食店や土産物店をはじめとする地域事業者の売上増加等による市内事業者への経済効果の拡大が期待できます。また、駐車場不足の緩和や交通渋滞の軽減にも寄与し、点在する観光資源を効果的に活用することで、黒石市全体の観光振興と地域活性化につながるものと考えます。具体的には、黒石よされ、こみせまつり等の主要イベント開催期間中に、黒石駅、中町こみせ通り、津軽こけし館、津軽伝承工芸館、温湯温泉など主要観光地を巡回するルートで、30分から1時間間隔での定期運行を希望します。料金体系については1日乗り放題パスの導入など観光客が利用しやすい設定とすることで、市内周遊の促進が図られます。さらに、バス車内やバス停において観光情報の提供を行うことで、来訪者の満足度向上にもつながると考えます。

つきましては、持続可能な観光地づくりの観点からも公共交通機関の充実は重要な施策であるため、黒石市の魅力を最大限に発信する機会であるイベント期間中の臨時バス運行を要望します。

◆「観光振興」

9. 虹の湖公園の改修について（新規）

当市の観光窓口として長年親しまれてきた道の駅「虹の湖公園」につきましては、かつては観光客や地域住民で賑わいを見せておりましたが、近年は来訪者数の減少や施設の老朽化が進み、往時の活気を失いつつあります。

特に、トイレ・休憩スペースの老朽化、地場産品販売の廃止などが顕著であり、観光客の立ち寄りが減少し、地域経済に悪影響を及ぼしております。

このままでは地域の魅力発信拠点としての機能が失われるおそれがあるため、道の駅「虹の湖公園」の施設改修を要望します。

10. 食の情報発信拠点等の整備について（新規）

この数年当市には、新規出店者の増加や休日の「こみせ通り」の観光客の増加が見られます。今後も、様々な業種・業態の店舗が増加することで市内外からの来街者の増加が期待できると思います。

黒石と言えば、米、りんご、メロン、桃、ぶどうなどの農産物、加工品等が豊富にあります。当市には、これらが一堂に揃い、買い物や飲食ができる拠点、黒石の魅力や歴史を知ることができる拠点が現在不足しています。

つきましては、市外から訪れる観光客の方々にも立ち寄りやすく、交通の便が良い場所に、多数の車両が収容可能で大型バスの受け入れが可能な「食の情報発信拠点」の整備を要望します。

1 1. 地域資源を活かした黒石温泉郷への誘客促進について（新規）

黒石市は、古くからりんごや米といった一次産業が盛んであり、これらを中心とした農業体験をはじめ、こみせ通り、黒石よされ、黒石ねふたなど、歴史と文化を感じられる豊富な観光資源を有しています。これらの地域資源は体験的に理解を深めることができる教育旅行の目的地としてなり得る場所であります。

毎年、黒石市の温泉郷にある宿泊事業者数名で、青森県主催の「教育旅行セミナー・商談会」に参加し、教育旅行の誘致活動に取り組んでおります。具体的には、一泊二日で黒石市の魅力を体験できる独自のモデルコースを作成し、関係者の皆様に向けてプレゼンテーションを行うものです。その際、黒石市のご担当者様にもご同席いただき、地域の概要やこれまでの取り組みについて補足説明をいただけますと、より説得力のあるご案内が可能となり、黒石温泉郷への誘客促進につながると考えます。

このような取り組みにより、先生方の負担軽減を図りながら黒石市の魅力を効果的に発信し、教育旅行の誘致において他地域に対する大きなアドバンテージを得ることができると考えます。また、近年、全国的な交通費高騰の影響により、移動距離を抑えた教育旅行の需要が高まっております。この傾向を踏まえ、北海道からの誘客や、新幹線を利用してアクセス可能な地域への積極的なアプローチを重点的に行うことが重要と考えます。

つきましては、小・中学校を主対象とした国内教育旅行の誘致活動の積極的な展開への支援を要望いたします。

以上、令和8年度黒石市に対する要望事項として要望いたします。

令和7年11月27日

黒石商工会議所

会 頭 条 田 泰 孝